

多田武彦<公認サイト>

サイト管理者 加藤良一

タダタケさんこと多田武彦先生は、男声合唱愛好家なら知らぬものはないといわれる作曲家です。

残念ながら2017年12月12日にお亡くなりになりました。享年87歳でした。亡くなられた直後、風の噂のように訃報が飛び交いましたが、ご家族との通信は電話もFaxも一切繋がらず、詳しいことが分からないままいたずらに時間ばかりが過ぎてゆきました。その後年明けにご遺族からの手紙という形でご逝去が公表されました。以下に手紙の全文を紹介いたします。

突然のご報告をお許してください。

多田武彦は、12月12日永眠致しました。故人の遺志により葬儀は親族で済ませております。

生前故人が賜りましたご厚誼に感謝申し上げます。長い間作曲家として活動することができましたのも多くの方々のご支援を賜りましたお蔭と思えます。故人の生涯は本当に幸せでございました。旅立ちを静かに送って頂きますようお願い申し上げます。

皆様へのご報告が遅れましたこととお詫び申し上げます。故人からは、所属しておりました日本音楽著作権協会の会報により、訃報欄への記載を通じて行われると聞いておりました。会報が出るのは二月頃なので、暮れや新年をお騒がせする事なく、私達も心身の休養が出来ることをありがたく思っておりました。

しかしながら、どこからか漏れた情報がネット上を騒がせ、皆様にご心配をおかけすることとなり、私共も心を痛めております。特にこれから演奏会を予定されている方々にとって、このような状況でご迷惑をおかけすることは故人も望んでいなかったと思えます。

つきましては、このお手紙を、これから演奏会を予定されている「なにわコリアーズ」「タダタケを歌う会」「アルマ・マータ・クワイヤ」の三団体様を代表として、多田武彦が亡くなりましたことをご報告申し上げる次第です。

この情報は皆様方の演奏会、及びWEBサイトを通じて、故人の作品を愛唱して下さる全ての方々と共に共有して頂いて構いません。但し、年末年始に公開されることは忍びなく思えます。公開は松の内を過ぎて、来年1月8日14時以

降とさせて頂きたく願います。その際は情報伝達による誤解・誤報が無いように、この手紙の全文を紹介・掲載して頂きますよう、何卒お願い申し上げます。

2017.12.28 親族一同
追記 親族にて葬儀を済ませ、お花・香典等も辞退して参りましたので、どうぞお汲み取りくださいますようお願い申し上げます。✂

多田武彦<公認サイト>は、平成21年(2009)12月に開設しました。タダタケさんは、ネットにあまり興味を示されず、Wikipediaなどに不足している情報を掲載しますが如何でしょうかとお尋ねしてもやんわりと断られてしまいました。

タダタケさんが書かれた『合唱音楽に関する効率的な方法』、『アンサンブル上達のための練習方法』、『西洋音楽の指揮に関する提言』、『山田耕筰先生からの薫陶』などの著作はもともと男声合唱プロジェクトYARO会のサイトに掲載していましたが、関連するコンテンツが増えてきたため<公認サイト>としてひとつにまとめた旨こちらから頼み込んだところ、ご快諾頂きました。

他にもタダタケさんがお書きになった「略歴」、「座右の銘」、牛尾孝さんによる『作曲家多田武彦メッセージ集』、『尾崎喜八の詩による楽曲集』(全3巻)なども加え、タダタケさんの全体像が分かるようにしました。ご覧頂けるとありがたいです。⇒ <http://www.max.hi-ho.ne.jp/rkato/>

下の写真は2005年に男声合唱プロジェクトYARO会が〔多田武彦合唱講習会〕を開催した時のもの、左から関根盛純、加藤良一(司会)、須田信男のYARO会三羽鳥です。



あるとき、タダタケさんに新宿の天麩羅屋でご馳走して頂いた帰りがけのこと、記念写真を撮ろうと店の方に撮影をお願いすると、タダタケさんは立ち位置や撮影角度について指示されたのには驚きました。若いころ映画監督を目指していた時期がありいろいろ研究されたようで、細部もないがしるにしない姿に感心したのを覚えています。そういった映像センスも作曲活動に活かされているのではないのでしょうか。